

西区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
妊娠期から産後のママ支援事業「プレママ・パパ&フレッシュママ・パパサロン」		西区役所子育て支援課			
事業目的	事業内容	活動指標	R1	R2	R3
	<p>35歳以上で出産予定のプレママ、プレパパ、及び35歳以上で1歳未満の子どもを持つママ、パパを対象に、妊婦や乳児とママ・パパが一緒に楽しめるイベントを通じて同世代同士の交流の場を提供し、妊娠中から出産を経て子育ての話題でつながっていくママ友作りを支援する。</p> <p>保健師からの産前・産後の心の変化についての話、保健師・保育士等からの子育てに関する情報提供やアドバイスを行うことで、産後の孤立化や産後うつ予防、心理的安らぎを促進し、健やかに出産・子育てできる環境を整えてもらう。</p>	参加者数	大人 110人 子ども 102人	大人 17人 子ども 16人	大人 27人 子ども 27人
		参加後アンケート結果 サロンに参加してよかったか 「よかった」と回答した割合	99.0%	対面 100% オンライン 66%	対面 100% オンライン 100%
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
◎ 高齢初産(35歳以上で初産)は増加傾向にあるが、全体の出生数に占める割合は少ないため、年齢層としては孤立しやすい傾向にある。さらに身体的リスクも高くなり、精神的にも産後うつになりやすい傾向にあると言われており、交流の場の提供と、不安や悩みを軽減するための支援が必要である。	◎ 子育て支援活動をされている方や保健センター等に講師を依頼した。また、スタッフとして、常時、子育て支援課保健師、保育士、子育て支援コーディネーターが参加した。	◎ 上記イベントを企画し、イベント終了後には保健師からの産後の心の変化について、子育て支援コーディネーターから子育て支援情報について、保育士から乳幼児との過ごし方や遊びの紹介を行った。特に、産後の心の変化については毎回資料を配布し、相談先の情報提供を行った。	△	広報やアプリ、チラシを利用し、周知を行った。昨年に続き、感染症対策のため、人数を制限し、開催したため、年間参加者数は少ない。その反面、少人数で、より親密な交流ができた。	
⑤自立発展性	総合評価				
△ 感染拡大防止のため、中止・延期となる回が生じたため、参加者同士が再会できる機会が減った。それにより、サークル結成までの発展は難しかったが、ママ友への発展はみられた。	◎ アンケート(オンライン開催の場合は、電子申請システムにてアンケートを実施)より、「とてもよかった」「よかった」の割合は、対面型・オンライン型ともに100%であった。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
<p>拡充 継続 見直し 廃止</p>	<p>今年度は、昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、中止・延期となる回が生じた。社会情勢から自粛を強いられる一方で、「交流したい」という参加者の声が多くきかれた。アンケート結果の参加者の声からも、交流の需要の高さが伺える。来年度も参加者同士の交流を図り、ピアカウンセリング支援を継続していきたい。内容としては、引き続き、参加者同士の交流の場を提供し、不安や悩みを軽減できる機会を提供する。(社会情勢を鑑み、適宜オンラインでの開催も検討していく。)妊婦の参加が少ないため、関係機関を通じて、情報発信していきたい。</p>				